

令和 8 年度の主要事業

公益財団法人 日本消防協会

令和 8 年度もさまざまな災害の発生が懸念されているなか、消防団員、女性防火クラブ員の減少が続いており、地域防災力の充実強化をめぐる環境にも厳しさが増していますが、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るため、さまざまな施策を展開します。

また、多くの皆様のご協力を頂き完成した新しい日本消防会館を、日本消防の総合的中核拠点として、全国オール消防の皆様のために活用するよう努力してまいります。

○地域防災体制の中核である消防団の充実強化

消防団の基盤である人的体制の強化として、多彩な人材を確保して総合力を一層高めることができるよう、消防団長、副団長などの幹部向け研修と幹部候補を育成するための特別研修や、消防団員の指導員を育成する研修を実施します。

また、消防団員の研修や訓練の充実を進めるよう、消防団活動事例や研修テキストである幹部実務必携の普及徹底、さまざまなメンバーを対象とする研修の実施、消防操法大会など全国的な大会の開催などを進めます。また、消防団活動の充実に役立つ装備の改善も推進します。

その他、全国30局ネットで毎週放送のラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」や機関誌「日本消防」等を活用するなど、消防団活動の重要性に関するPRを充実させ、引き続き消防団員の確保、消防団の一層の充実に努力します。

○地域防災力の充実強化

地域防災力充実強化の重要性に関する国民の皆さんのご理解ご関心を高め、ご協力頂くことができるよう、令和 8 年度も、鳥取県における「ぼうさい こくたい2026」や、将来の地域防災の担い手である全国の少年消防クラブ員の交流の場として岡山県で開催する「全国少年消防クラブ交流会」に対する開催協力など、関係団体と協力して自主防災組織等の活動活発化、地域防災力の充実強化を進めてまいります。

○日本消防会館の活用

令和 6 年 8 月に竣工した日本消防会館 1 階の日本消防防災情報センターにおいては、デジタルサイネージにより、消防防災に関するさまざまな情報展示を行っています。令和 7 年 7 月には、日本各地で山火事が発生し、各地域に甚大な被害を与えたことをふまえてニッショーホールで「山火事など世界災害」国際会議を開催したほか、9 月には「地域総合防災力の発揮」大会を開催するなどしていますが、これらの映像を追加し、展示内容の充実を図るなど、日本消防会館の更なる活用に努めてまいります。

消防基金の公務災害補償等と公務災害防止事業について

消防団員等公務災害補償等共済基金（消防基金）

1 消防団員等の公務災害補償等

消防基金では、消防団員や民間協力者の損害補償を行う市町村等に対し、その補償に要する経費を支払うとともに、当該市町村等に代わって被災団員やその遺族の福祉に必要な給付を行い、さらに、消防団員が災害対応のため自家用車を使用して車両損害が生じた場合には、自動車等損害見舞金を支給しています。

また、消防団員への退職報償金を支給する市町村に対し、その支給に要する経費を支払っています。

消防基金では、被災された消防団員や民間協力者に係る公務災害補償等や退職された消防団員に係る退職報償金の支払いを迅速・的確に行うよう努めています。

2 消防団員の公務災害防止事業

消防基金では、次の事業を推進し、消防団員の公務災害防止対策に取り組む市町村等を積極的に支援しています。

(1) 消防団員安全装備品整備事業助成金

都道府県の推薦に基づき、消防団活動中の安全性と行動性を高めるための安全装備品の整備を行う市町村等に対し、助成金を交付しています。

(2) 消防団員公務災害防止研修事業

消防団員の公務災害防止のために、消防団員・消防団事務担当者を対象に、次に掲げる4つの研修を実施する都道府県・市町村等に講師のあっせんや教材の提供などの後援を行うとともに、講師の謝金・旅費・会場借上費などの諸経費を助成対象としています。是非、ご活用ください。

① 消防団員安全管理セミナー（所要：1.5時間）

消防団員の安全確保と健康増進の重要性の認識及び理解を深め、その普及を図ることを目的とした研修

② S-KYT（消防団危険予知訓練）研修（所要：4時間（原則）、3時間、2時間）

消防団活動に潜む危険を予知するとともに、その危険に適切に対応できる能力を養成するためのS-KYTの基礎知識とその実技を習得することを目的とした研修

③ 消防団員健康づくりセミナー（所要：1.5時間、3時間）

循環器系疾患による消防団員の公務災害防止を図るための健康教育を行うとともに、健康増進に役立つ運動実技を習得すること目的とした研修

④ 消防団員セーフティ・ファーストエイド研修（所要：1.5時間、3時間）

災害現場等で負傷者の応急処置を行う際に、消防団員が自身の安全を確保した上で適切に対応できるようにファーストエイド（外科的応急処置）等の基礎知識とその実技を習得することを目的とした研修

※令和7年度の研修事業の実際の様子をYouTube動画「ダニエル・カールの消防基金チャンネル」で紹介していますので、ご覧ください。

（「消防基金 公務災害防止研修PR」と検索、または右QRコードをスキャン）



消防基金HPでは、消防団ウォームアップ体操（モデル版）など消防団員の公務災害防止のための他の取り組み、研修事業の申請方法等についても紹介していますので、併せてご覧ください。

地域防災の推進のための令和8年度の取組み

一般財団法人 消防防災科学センター

当センターでは、地域防災の推進のためさまざまな事業に取り組んでいます。ぜひ、ご活用ください。

【防災啓発研修・防災啓発中央研修会の開催】

風水害をはじめ、地震や火山のメカニズム、災害の教訓などをテーマに、一般住民の皆様や地方公務員の方々を対象とした講演会を、総務省消防庁及び関係都道府県との共催で開催しています。令和8年度は、防災啓発中央研修会をオンライン方式で1回開催するほか、12団体において防災啓発研修を開催する予定です。

【学識経験者による災害基礎知識の解説】

火災・地震・土砂・津波・豪雨・火山・風・雪氷・原子力等の災害基礎知識に関する動画解説をホームページに公開しております。災害発生のメカニズムなど基本的な知識を習得することができます。

URL：https://www.bousaihaku.com/disaster_knowledge/



【ホームページを通じた各地の防災訓練の紹介】

各地で取り組まれている防災訓練の様子をホームページで紹介しています（動画）。みなさんの地域での今後の取組のヒントとなれば幸いです。

URL：<https://www.bousaihaku.com/video/training/>

- 津波避難計画に基づく避難訓練（岩手県大槌町安渡地区）
- 釜石避難訓練 韋駄天（いだてん）競争（岩手県釜石市）
- 非常持ち出し品チェック（愛知県半田市岩滑区）
- 夜間津波避難訓練（静岡県牧之原市地頭方区）等



非常持ち出し品チェックの様子

【災害対応を経験した消防職員インタビューの公開】

令和6年1月1日の能登半島地震において、輪島市内で消火・救助活動を行った奥能登広域事務組合消防本部の職員、及び緊急消防援助隊で応援に入った大阪市消防局の職員のインタビューをホームページで公開しております。発災当時の活動の状況や当時の思い、今後の教訓などを聞くことができます。

URL：<https://www.bousaihaku.com/video/interview2/>



防火思想の普及、危機管理意識の高揚を目指して

一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

当協会は、防火に関する調査研究とその推進及び資料等の提供、国民保護等の危機管理に関する調査研究・普及啓発などの各種事業を通じて、防火・危機管理体制の充実発展に寄与することを目指しています。

■防火ポスター

毎年度秋と春の全国火災予防運動を広く周知するため、防火ポスターを作成し、全国の消防機関等に配布しています（令和8年度は、各178千枚を配布予定）。



令和7年度春のポスター

8年度は、東京都（5月）、尼崎市（10月）のほか7月にオンラインでの実施を計画しており、計3回研究会を開催の予定）。さらに、災害等の危機管理に役立つ情報について解説したハンドブック、災害時等に的確な行動をとるための知識を簡潔にまとめた防災小冊子などを作成し、市町村、消防本部等を通じて地域住民の方々に配布する予定です。

■林野火災防止用標識

入山者に対する林野火災防止の啓発を図るため、標識を作成し、全国の消防本部等に配布しています（令和8年度は、85消防本部等、2,000枚を配布予定）。



令和7年度の標識

■住宅防火対策の推進

住宅防火対策の推進のためのシンポジウムを毎年全国で開催しています（令和8年度は、太田市（2月）で開催の予定）。

また、インターネットを活用した映像配信のための住宅防火広報番組の制作（令和8年度は、砺波市（8月）、豊山町（11月）の2箇所での実施を予定）、高齢者、障害者等の方々に住宅防火の大切さを知っていただくための展示会への出展、住宅防火のための広報動画等の作成・配布などによる住宅防火思想の普及に努めています。

■危機管理体制調査研究

地方自治体の防災・危機管理業務に資する調査研究を実施するとともに、危機管理担当者等を対象に研究会を開催しています（令和



令和7年度危機管理研究会（東京都港区）



令和7年度住宅防火シンポジウム（東京都港区）